

山形から全国へ。 RPAから始めるDX推進で中小企業を元気にする！

株式会社ASAHI Accounting Robot研究所 (山形県山形市)

情報・通信業 資本金500万円 従業員数18名

会社概要

あさひ会計グループ内の業務自動化で絶大な効果を体感し2019年事業化。“ロボットはロボットの得意な業務を、ヒトはヒトにしかできない業務を”ヒトとロボット協働時代を推進する。”というミッションを掲げ全国でDX推進支援、AI活用支援を行う。

ASAHI
Accounting Robot Research Institute



100社を超える企業へRPAの勉強会・開発サポートを実施！
無料のDXセミナーを毎月開催！
自社のRPA・DX推進の経験・ノウハウを惜しまず公開し、
RPA・DX成功のための伴走支援を実施

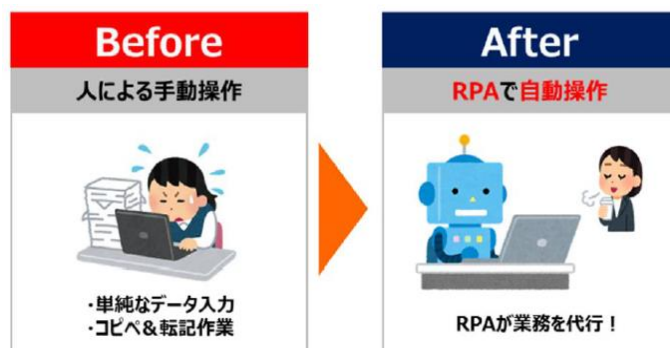
RPAとは？

RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの頭文字をとった略語で、主にホワイトカラーのPC業務・事務作業など、従来人が手で行ってきた業務をパソコン上で動くソフトウェアロボットに代行・自動化させることで、人はより人ではできない業務（お客様と接する、計画を立てるなど）に注力できるようになる技術のこと。

たとえば、

- ①単調な繰り返し
- ②誰がやっても同じ結果
- ③長時間続く
- ④深夜や休日の労働
- ⑤待ち時間が多く待っている間は他のことができない
- ⑥定期的だが忘れてしまう

このような人が苦手としている業務を
RPAに置き換えることができる。



取組の背景は？

2018年、税理士法人の経営企画室で業務自動化の取り組みの一環として、当時世の中に広まりつつあったRPAの活用を始めた。初めて作ったのは国税庁サイトのメッセージBOXにある未開封のメッセージを自動で取得するロボットで、1件あたり5分かかる業務を2,000件、年間660時間の効率化に成功。以降自社内での開発を進め、現在では**282のロボットを作成**、メインとして動いている常時稼働しているもの、年1回稼働するものを合わせると**197ロボットが稼働**している。自社内での活用を通して、**RPAは業種や事業**

規模を問わず事務作業全般に活用できるため、事務部門における労働生産性の向上、社員の機会創出につながると感じ、自社だけでなく日本全国の中小企業をこの技術で救いたいと強く想い、2019年に事業化。

中小企業や会計事務所の業務自動化を支援する取り組みを開始した。

具体的な取組内容は？

Microsoft社のパートナーとしてMicrosoftのPower Automate、Power Automate for desktop、Power Appsを中心とした**勉強会開催、開発サポートの支援**を実施。

100社を超える企業での勉強会の開催、また地元の山形をはじめ、全国の地方自治体や商工会議所、コミュニティでの**RPAに関するセミナーを開催**。また広く一般に向けて、**無料のオンラインセミナー**（事務スタッフ向けセミナー、リスキリングセミナー、社内のRPA推進者セミナーなど）を開催し、企業の中で自らボトムアップで取り組んでいる人材、企業内でRPAを推進している人材を支援している。

RPAを“きっかけ”としてDXの一步を踏み出すことにより、RPAがDX推進の基礎となってデジタル化のハードルが下がり、次々にデジタル化に取り組むことで社員の意識が変わり、企業変革（=DX）を実現することができるという自社の体験を積極的に発信している。

